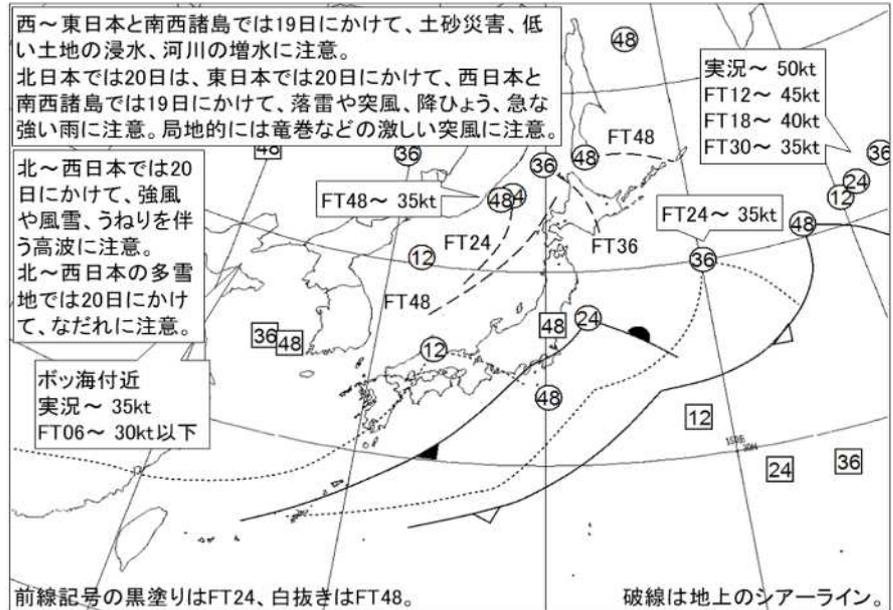


1. 実況上の着目点

- ① 日本のはるか東に低気圧があって、ゆっくり北北西進。この低気圧周辺を波源とするうねりにより、北～東日本の太平洋側では波が高くなっている所がある。
- ② 前線を伴った低気圧が対馬海峡付近にあって、東北東進。西日本は広く降水となっている。
- ③ 500hPa 5100m付近の-42℃以下の寒気を伴った寒冷渦が中国東北区にあって、南東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、20日にかけて日本のはるか東を北東進する。この低気圧周辺を波源とするうねりの影響は次第に小さくなるが、北～東日本太平洋側では19日にかけて、うねりを伴った高波に注意。
- ② 1項②の低気圧は、西～東日本日本海側を進み、19日朝は日本の東へ達する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。東～西日本と南西諸島では19日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。また、前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。東日本では19日は、西日本では19日にかけて、強風や高波に注意。
- ③ 1項③の寒冷渦は、19日にかけて中国東北区を南東進、20日は北日本付近へ進む。この寒冷渦の周りの500hPa 5280m付近のトラフに対応して、18日夜までに日本海西部に低気圧が発生し、20日朝にはサハリン付近へ進み、シアーラインが19日に北日本を通過する。また、寒冷渦に対応し、20日朝までに日本海北部に低気圧が発生し北東進、シアーラインが20日に北～東日本を通過する。低気圧やシアーライン周辺では気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風が吹き、波が高くしける所がある。北日本では19～20日は、東日本では20日は、強風や風雪、高波に注意。20日に北～東日本を通過するシアーライン周辺では下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となるため、北～東日本では20日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨にも注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 2項②・③の低気圧や前線、シアーラインに向かう下層暖湿気や降水の影響で、多雪地では、雪解けが進む。北～西日本の多雪地では20日にかけて、なだれに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。
- ③ 波浪(明日まで) 北海道・東北・関東・伊豆諸島・東海・近畿3m。
- ④ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。